

平成24年度 特別推進研究 審査の所見

研究課題名	シアノバクテリアの時計タンパク質による概日時間の生成機構
研究代表者	近藤 孝男
審査の所見	<p>本研究は、シアノバクテリアの時計遺伝子 <i>KaiABC</i> を発見した応募者が、<i>in vitro</i> で再構成された <i>KaiC</i> タンパク質の ATPase 活性が温度変化にかかわらず 24 時間周期のリン酸化サイクルを示すという振り子時計のような概日時計の発振機構を分子レベルで解明しようとするものである。原核生物の概日性リズム研究では、世界の最先端に位置しており、今後の当該分野における研究の進展のみならず、真核生物の概日リズムの根本的な機構の解明においても、大きな影響を与える重要な研究である。</p> <p>本研究の実施により、世界に誇る独創的な研究成果を挙げることで、更に概日性リズム分野への革新的貢献を果たすことが期待できるため、特別推進研究として推進することが適切と考えた。</p>